

琴浦町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置計画（概要）

●本町の現状

- ・時間外在校等時間は、全体として減少傾向（月平均）小：30.02h, 中：36.90h（R6実績）
- ・しかし、小学校で約1割、中学校で約4割の教員が月45時間超。小：11.5%, 中：41.6%

●目標指標（令和11年度にめざす姿）

区分	時間外在校等時間に関する目標			ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標			
目標指標	1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合	1箇月時間外在校等時間の年間平均	年間の時間外在校等時間の平均時間	年間の年次有給休暇(夏季休暇を含む)取得日数	ストレスチェックにおける高ストレス者の割合	ストレスチェックにおける健康リスクの値	ストレスチェックにおける働きがいに関する質問への肯定的回答割合
目標値	100%	30時間程度	年間360時間	20日以上	5%	70以下	45%以上
現状値(R6)	小：88.5% 中：66.7%	小：30.02h 中：36.90h	小：360.24h 中：442.80h	13.12日	6.0% (R7)	79.2 (R7)	39.2% (R7)

目標を達成するため、以下の取組を実施

●取組内容

「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し			学校における措置の推進	教職員の健康及び福祉の確保に関する取組
学校以外が担うべき業務	教師以外が積極的に参画すべき業務	教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務	<ol style="list-style-type: none"> ①校長のリーダーシップと組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・前例の見直し ②教育課程の編成 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な授業時数、授業日数の設定 ③日課表の工夫、会議の精選と効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の活動時間の勤務時間内での設定 ・会議の集約化、時間の上限設定 ④ICT・校務DXの加速による校務効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト、採点システム等の活用 ・職員間の情報共有、保護者連絡のデジタル化 ・勤務時間外の留守番電話対応 	<ol style="list-style-type: none"> ①適正な勤務時間管理 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間の入力の徹底 ②メンタルヘルス対策 <ul style="list-style-type: none"> ・面接指導を希望する職員に対する産業医面談の実施 ・ストレスチェックの実施と集団分析結果の活用 ③勤務間インターバルの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・終業から始業まで11時間を目安 ④定時退校日・学校閉庁等の実施と年次有給休暇の取得促進 <ul style="list-style-type: none"> ・週1回以上の「定時退校日」の実施 ・長期休業における「学校閉庁」の実施 ・「体験的学習活動等休業日」の実施 ・年次有給休暇の取得促進
<ol style="list-style-type: none"> ①登下校時における地域・保護者連携による見守り活動 ②警察・保護者主体の放課後から夜間における見回り、補導対応 ③地域コーディネーター主体の地域学校協働活動関係者間の連絡調整等 ④学校への過剰な要望や付不当要求等に対する弁護士相談事業の活用や学校・教委の連携した対応 	<ol style="list-style-type: none"> ⑤システム・共同学校事務室活用による調査回答の省力化 ⑥ICT支援員参画による広報・HP更新の負担軽減 ⑦専門スタッフ・外部委託によるICT保守業務の解消 ⑧手続きの電子化による施設(体育館等)開放管理の省力化 ⑨支援員等によるプリント印刷・事務作業の徹底代替 ⑩地域ボランティア活用による休み時間見守りの代替 ⑪地域人材参画による環境整備の ⑫地域展開による部活動改革 	<ol style="list-style-type: none"> ⑬栄養教諭等による食育指導の実施 ⑭支援員配置とデジタル技術活用による授業準備の効率化 ⑮自動採点・校務支援システム活用による成績処理の効率化 ⑯目的の再確認による学校行事の徹底的な精選と見直し ⑰事務職員・支援員等との協働による進路業務の分担 ⑱専門人材・関係機関との「チーム学校」による支援体制深化 		